

臨床に必要な点に絞り、事例を踏まえて!

# トータルアセスメントにつなげる



## 「侵襲・輸液・栄養管理」を看護に活かすポイント

いま患者がどの時期にあるのかを押さえておけば、  
ケアをいませる・しないを見極められる!

急性期に起こっている患者の生体反応を理解して意味を知る!

国際医療福祉大学成田病院 準備事務局

道又元裕氏

露木菜緒氏

集中ケア認定看護師

生体侵襲を理解するのは難しいですが、知れば侵襲を受けた患者の体がどのように変化しているのかがつながります。また、侵襲学を学んでも、どうやって臨床で活用すればいいのかわからない、第二のハードルになるとおもいます。今回は、侵襲の基礎、これだけは知っておいたほうがいいことをしばって解説した上で、それをどうやって臨床で活用していくまで紹介していきます。

東京	19年 5月19日(日)	LMJ 東京研修センター	[13]
大阪	19年 9月28日(土)	田村駒ビル	[14]
福岡	19年 11月24日(日)	福岡商工会議所	[15]
仙台	19年 12月1日(日)	ショーケー本館ビル	[16]

[講義時間] いずれも10:00~17:00

参加料 一般 18,500円 会員 15,500円  
 ※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年々ぎ購読者です。  
 ※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。  
 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数17人。

### プログラム

1. 代謝相変化から侵襲を理解してみよう!  
 ●患者に悪いことをしない!  
 ●そもそも侵襲とは?  
 ●侵襲(ストレス)→易感染性  
 ●各侵襲の程度  
 ●侵襲のトライアングルとは 神経系・内分泌系・免疫系  
 ●mooreの侵襲時代代謝相変化の4期とは  
 I相: 傷害期 II相: 転換期 III相: 同化期 IV相: 脂肪蓄積期  
 ●自律神経とは 交感神経と副交感神経のはたらき  
 ●カテコールアミンの特徴とはたらき  
 ●血糖値にかかわるホルモンの特徴とはたらき  
 ●高血糖と低血糖の問題  
 ●免疫システムのしくみ  
 ●SIRSの基本的特徴  
 ●敗血症の新しい基準  
 ●免疫機構の構成要素  
 ●自律神経と免疫バランス 交感神経緊張が免疫機能を低下させる  
 ●侵襲とサイトカイン
2. 侵襲時の体液変化と輸液管理  
 いま投与した輸液は、体のどこにいくのでしょうか? 投与した輸液がどう生体に影響するのか?  
 ●炎症のメカニズム ●炎症とは  
 ●炎症メディエータ ●炎症と痛みのメカニズム  
 ●血管透過性亢進 ●血液の浸透圧とは  
 ●血管内と血管外の輸液配分  
 ●ショックと輸液 ●輸液の種類・特徴・選択
3. 侵襲時の栄養管理の基本  
 栄養低下が生体に与える影響など、侵襲時の栄養代謝の変化と、急性期の栄養管理の基本を押さえます。  
 ●侵襲下の栄養代謝  
 ●栄養障害による生体への影響  
 ●2つの栄養障害 マラスムスとクワシオルコルの対比  
 ●重度侵襲下の栄養管理の基本設計
4. 侵襲・輸液・栄養管理を事例から考える  
 今までの講義を振り返りながら、臨床に必要なポイントを押さえ、事例で考えます。

このセミナーの詳細はインターネットで検索!

日総研 14140

検索

### 関連雑誌

隔月刊誌(定期刊行物・会員制)

若手も読める・後輩に伝える実践知識

## 重症集中ケア

A4変型判 96頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,514円

2・3号特集 クリティカルケアに必須! 過大侵襲に対する生体反応の理解と看護への活用

- 侵襲に対する生体反応の基本的メカニズム
- 侵襲期(傷害期)から離脱期までの呼吸管理・循環管理・エネルギー代謝管理・体液管理の基本 ほか

次世代に、あなたの想いを残しませんか。

看護と介護に特化した「自作の本」のお手伝いを始めました。

いつでも、どこでもスタッフが、イメージ&費用のお話をお伺いします。

第5回 接遇大賞 優れたサービス取り組みを表彰

2019年日総研 募集は4月1日から9月30日まで。ふるってご応募ください。

過去の受賞者取り組みの詳細・総評はこちら

日総研 接遇

検索

お問合せ  
ご注文

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索